

保全技術研究会・記念講演会

■ 日時・会場 平成24年11月29日(木) 10:30～16:45
建築会館ホール 定員 200名
東京都港区芝5-26-20

■ 参加無料 (事前申込必要) 裏面の申込方法をご覧ください。

■ プログラム

◇ 保全技術研究会 10:30～15:00

「公共建築マネジメントの課題とその解決へのプロセス」

■ 研究報告 10:30～12:00

「建築ストックの時代の公共建築の現況と課題に関する調査」の報告

… (一財)建築保全センター主任研究員 川野 清司/宮田 農夫雄

「天井落下対策の実態について」 …… (一財)建築保全センター参事 新宅 浩明

「公共建築のベンチマークへの取組」 …… (一財)建築保全センター参事 田中 晃

— 昼休み —

■ パネルディスカッション 13:00～15:00

【パネリスト】 友澤 史紀 東京大学名誉教授・(一財)建築保全センター保全技術研究所長
山本 康友 首都大学東京特任教授
松岡 利昌 名古屋大学准教授・(株)松岡総合研究所代表取締役

【コーディネータ】 寺本 英治 (一財)建築保全センター専務理事

— 休憩 —

◇ 記念講演会(「建築・都市とストック社会」シリーズ第1回) 15:15～16:45

「長寿命建築とは」

青木 茂 首都大学東京教授・(株)青木茂建築工房 主宰

◆ 交流会 17:00～18:00

於 建築会館ホール ホワイエ 会費¥1,000(事前申込必要)

主 催：一般財団法人 建築保全センター

後 援：国土交通省 全国知事会
全国市長会 全国町村会

協 賛：(一社)公共建築協会
(一財)建築コスト管理システム研究所
(社)日本建設業連合会
(一社)日本建築学会
(公社)日本建築士会連合会
(社)日本建築士事務所協会連合会



保全技術研究会・記念講演会の概要

◆ 保全技術研究会

「公共建築マネジメントの課題とその解決へのプロセス」

研究報告では、今年が5年目となるストック時代の公共建築の現況調査結果、天井落下対策の現況、公共建築のベンチマークへの取組を発表します。またパネルディスカッションでは、新たに設立された公共建築マネジメント研究センターを紹介するとともに、5年間の公共建築ストック調査結果等から明らかになった公共建築マネジメントの課題を掘り下げ、それに対する施設戦略、技術的対応、公共サービスの在り方の変化等、解決への様々なプロセスを、具体例を交えて議論していただきます。これらは公共建築マネジメントに携わる関係者に大いに参考となるものです。

◆ 記念講演会

「長寿命建築とは」

低炭素社会の推進と昨年の中日本大震災以降の耐震化に関する意識の変化により、耐震改修を含めた既存建物の改修への関心がますます高まっています。日本の建築は30年の周期でスクラップ&ビルドを繰り返す新築崇拜主義が根強く、長期的視点に立って建設されることがほとんどありません。そのため今完成した建物も30年後には老朽化による同じ問題を抱えることになります。

このような時の経過とともに建設当時の機能を失いつつある既存建物を再生し有効活用する手法として、単なる短期的な耐震改修のみでなく長期的視点に立ち、新築以上の付加価値を付けて変身させる「リファイニング建築」が注目されています。この手法の提唱者である青木茂氏（首都大学東京戦略研究センター 教授、青木茂建築工房 主宰）に「長寿命建築とは」と題して、お話をいただきます。

保全技術研究会・記念講演会 参加申込方法

■ 申込方法

- ・ 当財団のホームページ

<https://www.bmmc.or.jp/gyoumu4/contact/index.html> から申し込む場合
参加申込フォームに必要事項を記入し、送信してください。

- ・ FAXで申し込む場合

下記の用紙に記入し、**FAX:03-3553-6767** してください。

定員になり次第締め切らせていただきます。

なお、本年は会終了後に交流会を企画しておりますので、奮ってご参加ください。

■ 問合せ先 一般財団法人 建築保全センター 試験研修部 原野 TEL:03-3553-0070

勤務先			
住所	〒(-)		
電話番号		FAX番号	
E-mailアドレス			
参加者氏名	所属	参加区分(○で囲む)	
		・ 研究会 ・ 講演会 ・ 交流会	
		・ 研究会 ・ 講演会 ・ 交流会	
		・ 研究会 ・ 講演会 ・ 交流会	